

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
962	自分発見！中学生・地域ふれあい事業	会計	01	一般会計	
31	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	款	10	教育費	
		項	01	教育総務費	
		目	03	義務教育振興費	
		細目	102	児童生徒指導経費	
		細々目	04	自分発見！中学生・地域ふれあい事業経費	
担当部課名	教育部 学校教育課				
作成者氏名	加納 圭子	連絡先	22-9676		

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	市内中学校生徒	中学生が、地元の企業等で職場体験をすることで、自己の生き方や進路を見つめなおす機会となります。
本年度事業内容	1. 中学生の職場体験活動	
開始年度	平成 年度	終了年度
	平成 年度	根拠法令・要綱等

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.125	0.4	0.4
	人件費合計(A)	900	2,880	2,880
②支出内訳(千円)	事業費(B)	1,550	1,550	1,550
	委託料	1,550	1,550	1,550
	その他			
	合計(A+B)	2,450	4,430	4,430
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	775	775	755
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	1,675	3,655	3,675
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
職場体験活動実施校数	校	12	12	12			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
職場体験実施後のアンケート調査による生徒の満足度	中学校2年生あるいは3年生での職場体験は、中学生にとって自分の将来を考える非常によい機会となっています。気づかなかった自分に会って、確かな進路選択につなげていますので、職場体験を終えた後の感想にある満足度を指標にしました。	%	70 目標 ( 100 )	90	90
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

自分の将来の生き方や進路を模索し始める中学生を対象とし、学校、家庭、地域社会が一体となって地域ぐるみで職場体験活動を実施しています。市内の公的機関や企業に理解を得て、3～5日間の受け入れをしていただいておりますが、さらに多様な職業体験を中学生に提供していくことができると考えています。

評価	必要性	4	中学生の職業観や勤労感の育成を目標に、地元の企業に理解を得ているところですが、さらに職場体験を受け入れていただく場を開発していきたいと考えています。	総合評価 <b>A</b>
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		